

1. 6月全国行事

- | | |
|---------------|----------|
| 1) 全国安全週間準備月間 | 6月1日～30日 |
| 2) 環境月間 | 6月1日～30日 |
| 3) 環境の日 | 6月5日 |
| 4) 危険物安全週間 | 6月7日～13日 |

2. 安全・衛生・防災の心得 : 「立ち上げ作業」の安全心得

3. 他社の事故・災害事例から : 仮置き鉄材が振動で倒れて重傷

4. 今月のヒヤリハット

1. 6月全国行事

- 1) 全国安全週間準備月間 6月1日～30日

平成27年度全国安全週間のスローガン

「危険見つけてみんなで改善 意識高めて安全職場」

- 4) 危険物安全週間 6月7日～13日

平成27年度危険物安全週間推進標語

「無事故へと 気持ち集中 はっけよい」

2. 安全・衛生・防災の心得 : 「立ち上げ作業」の安全心得

連休などの長期の休業の後や、大型修理、長期停止、定期メンテナンス等の後に設備や機械等を稼動する

「立ち上げ作業」では、さまざまなトラブルや事故が発生しがちです。

人の動きや設備等に関して格別の配慮と注意が必要です。

「立ち上げ作業」を進めるに当たっては、次の手順を踏んで、それぞれの事項を的確に実施する必要があります。

- ① 立ち上げ出勤初日は、前日から体調を整え、心身の余裕を持って早めに出勤する。
- ② 始業前の服装点検、健康相互チェックをしっかりと行い、元気よくていねいに体操を行う。
- ③ 立ち上げ作業の危険性について全体の作業並びに個々の作業について危険予知を行い、必要な対策を行う。
- ④ 機械や設備等について決められた作業前点検を手抜きなく行う。異常等があれば直ちに上司や関係スタッフに報告して指示を受ける。
- ⑤ 立ち上げ作業は、実施要領並びに手順書に基づいて実施する。異常があれば直ちに作業を中止して上司等の指示を受ける。
- ⑥ 作業の連絡・合図は的確・明確に行う。
- ⑦ 本格稼動を始める前に、再度点検・確認を行い、稼動後もしばらく様子を見る。
- ⑧ 部下や同僚の動きに目を配り、不安全な行動等があれば注意・忠告して是正させる、など。

3. 他社の事故・災害事例から : 仮置き鉄材が振動で倒れて重傷

<災害のあらまし>

工場設備の改修工事現場で、終業時間になったので、作業場の後片付け作業を行っていた工事業者(男性58歳)に、そばの壁に立て掛けてあった円形の金属板(直径1.5m、厚さ80mm、重量約1200kg)が突然倒れてきてその下敷きとなり、両足骨折の重傷を負いました。

<災害の主な原因>

- ①金属板は、明朝からの作業に備えて現場に仮置きしたもので、ストッパーが不完全だったため、工場の振動で外れて転倒してきたこと。
- ②被害者の足元に工事の資材が散乱していたため、金属板が倒れかかってきたとき足を取られて倒れ、下敷きになったこと。
- ③終業間際で、注意が散漫になっていたこと、など。

<同種災害の防止対策 例>

- ①倒れるおそれのある重量物等は、短時間であっても転倒防止の対策を厳重に行う。万一の転倒を想定して、出来るだけ寝せて置く。
- ②作業の途中で物が散乱しないよう、作業手順を見直し、作業方法の改善を行う。
- ③作業終了間際の、跡片付けなどの非定常作業時に、事故や災害が発生することを予測して「人・物」の安全対策をしっかり行う(行わせる)、など。

4. 今月のヒヤリハット:各事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

「小さな油断が 大きな事故へ 先手で摘み取れ 危険の芽」

事例	濃硫酸の可能性のある液体が、手に付着しそうになった。
どこで	実験室で。
あらまし	濃硫酸を使用するため、蓋を外そうとしたら蓋部付近に液体が付着していた。その液体が濃硫酸なのか分からないが、素手で作業したら怪我を負うところであった。
原因	濃硫酸の試薬ビンの蓋付近が液体で濡れていたこと。
教訓・対策	液体の薬品ビンは使用後蓋を閉める際、漏れがあるときは拭き取っておくこと。

事例	階段で足を滑らせて、転びそうになった。
どこで	事務棟で。
あらまし	古新聞を捨てるために、2階から1階に古新聞を運んだ。その際、足を滑らせて転びそうになった。今後は手間でもこまめに少量ずつ運ぶこととする。
原因	古新聞を多量に持って、階段を昇降したこと。
教訓・対策	可能であれば、片手はフリーにして手すり等をつかめるようにする。

5. その他

省エネ、産廃削減活動などを、引き続きお願いします。

「無限じゃないぞこの資源 一人一人がエコ活動」 H27年度環境保全最優秀作品